

# 進路だより

第6号

令和8年3月12日発行

県立美浦特別支援学校 進路指導部



今年度も残りわずかとなりました。高等部では、卒業式が行われそれぞれ新たな生活へ向け巣立ちました。一人一人が新たな場で充実した生活を送ってくれることを願っています。

## 令和7年度高等部卒業生進路状況

(令和8年3月12日現在)

一般（企業） 就労	障害福祉サービス			進学	在家庭	その他	合計
	就労移行支援、就労継続支援A型・B型、自立訓練	生活介護	入所 <small>※グループホーム</small>				
7名	12名	15名	3名	0名	0名	0名	34名

### ■進路先【福祉事業所】

進路先	所在地	利用する福祉サービス	主な作業・活動内容
かんぱにい	龍ヶ崎市	生活介護	軽作業（キーホルダーの袋詰め、段ボールの組み立てなど）
Color Sheeps 龍ヶ崎	龍ヶ崎市	生活介護	塗り絵、貼り絵、軽作業など
ひまわり園	龍ヶ崎市	生活介護	創作活動、個別課題、レクリエーションなど
ほほえみの郷	龍ヶ崎市	生活介護	創作活動、個別課題、ウォーキングレクリエーションなど
みなてらす	龍ヶ崎市	就労継続支援B型	軽作業（パーツはずし、ゴム切りなど）
農楽里	龍ヶ崎市	生活介護	農作業
KINOPPI CAFE	龍ヶ崎市	就労継続支援B型	軽作業（封筒作り、チラシ折り） パソコン作業
花農場	龍ヶ崎市	就労継続支援B型	農作業
みのるの郷	牛久市	自立訓練	運動、作業（さをり織り、農作業、コーヒー豆の選別、軽作業など）
LACC 神谷	牛久市	生活介護	運動、軽作業（ボールペンの組み立てなど）、レクリエーション
いいはたらくばトポス	牛久市	就労移行支援	厨房、販売、軽作業
牛久市知的障害者 デイサービスわくわく	牛久市	自立訓練	スポンジの袋詰め、ボールペンの組み立てなど
KANAME USHIKU	牛久市	就労継続支援A型	軽作業（お守り作り、ゴム手袋の加工）
Color Sheeps 牛久	牛久市	就労継続支援B型	軽作業、清掃
多機能型事業所 one step	牛久市	就労移行支援	パソコン業務、グループワーク

みんなの学校いなしき	稲敷市	就労継続支援B型	軽作業（バリ取り、ねじの組み立て、袋詰め）
あゆみほっとハウス	稲敷市	生活介護	制作活動（木のパズル、ちぎり絵など）
ハートピア稲敷	稲敷市	生活介護	軽作業（ハンガー解体など）
ケアステーション コナン	美浦村	生活介護	運動 軽作業（ボールペンの組み立てなど）
阿見町障害者支援センター	阿見町	生活介護	レクリエーション、創作活動 野外散策など
キッズランド まめの木 おおつ野校	土浦市	生活介護	制作活動、散策、リハビリなど
あすなろ	取手市	生活介護	レクリエーション、創作活動など
取手市立障害者福祉センター つつじ園	取手市	生活介護	軽作業、散策
ありがとう	取手市	就労継続支援A型	軽作業、古本作業、馬房清掃
自然生クラブ	つくば市	生活介護	農作業、アートワークショップ
さとう重症心身障害児 支援センター	守谷市	生活介護	レクリエーション、リハビリなど

### 福祉サービスの内容

- 就労移行支援・・・一般（企業）就労に向けた訓練や支援を行うサービスです。
- 就労継続支援A型・（福祉的就労）福祉的な支援を受けながら働くサービスです。  
※雇用契約を結び働きます。最低賃金以上の賃金が支払われます。
- 就労継続支援B型・（福祉的就労）福祉的な支援を受けながら働くサービスです。  
※雇用契約を結ばないため本人の実態に合った働き方（仕事量、ペース、時間等）ができます。  
賃金ではなく「工賃」として生産物等に対する成果報酬が支払われます。
- 自立訓練・・・・・・自立した日常生活、社会生活に向けた生活能力の向上を目指すサービスです。
- 生活介護・・・・・・日常生活上の支援を行ったり、創作的な活動や生産活動を提供したりするサービスです。

### ■進路先【一般（企業）就労】

進路先	所在地	主な仕事内容
イセデリカ株式会社 白羽工場	龍ヶ崎市	ライン作業
ザ・ゴルフクラブ竜ヶ崎	龍ヶ崎市	リネン、清掃
三菱ケミカル株式会社 筑波工場	牛久市	清掃作業、事務補助
江戸崎共栄工業株式会社	稲敷市	組み立て、ピッキング作業
特別養護老人ホーム 千の風・河内	河内町	清掃、皿洗い、洗濯たたみなど
株式会社 ファーストフーズつくば	つくば市	仕分け作業
NEC フレンドリースタフ株式会社 我孫子事業所	千葉県我孫子市	清掃

#### ～高等部卒業後の学校の支援～

本校では、卒業後3年間を移行期間と定めています。定期的に移行先への巡回訪問や連絡を行い、卒業生をフォローアップしていきます。その中で、就職先や就職者を支援する専門機関、福祉事業所や相談支援専門員と連携し、移行先での生活が定着していくようにしていきます。